

平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 福

上場会社名 トラストパーク株式会社

コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 矢羽田 弘

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	1,195	11.2	23	166.9	15	132.4	△10	—
21年6月期第1四半期	1,075	—	8	—	6	—	△1	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	△1,176.10	—
21年6月期第1四半期	△143.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第1四半期	2,667	466	17.5	52,556.05
21年6月期	2,528	488	19.3	54,932.25

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 466百万円 21年6月期 488百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	1,200.00	—	1,200.00	2,400.00
22年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	1,200.00	—	1,200.00	2,400.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	2,540	15.0	50	58.8	30	26.2	10	—	1,125.49
通期	5,360	20.0	200	218.8	160	250.5	80	—	9,003.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第1四半期 | 8,885株 | 21年6月期 | 8,885株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年6月期第1四半期 | —株 | 21年6月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年6月期第1四半期 | 8,885株 | 21年6月期第1四半期 | 8,885株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リクスや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋の世界的な金融危機に端を發し大幅に悪化した金融と経済は最悪の事態を脱しつつありますが、雇用情勢や所得環境の低迷等、依然として先行き不透明な状況は続いております。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、昨年のガソリン価格高騰に伴う稼働の減少傾向はやや持ち直しつつありますが、まだ需要が完全に回復するまでには至っておらず、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、将来の収益拡大を図るために、継続して営業力の強化を重点課題として新規駐車場の開発に注力した結果、第1四半期末の駐車場数は前年同期より47ヶ所増の435ヶ所、車室数は1,106ヶ所増の19,201車室となりました。また、既存駐車場におきましても、継続してカード会員拡大、駐車料金・駐車場賃借料の見直し、月極駐車場顧客の確保及び不採算駐車場からの撤退等収益力向上にも注力してまいりました。

以上の結果、売上高は1,195,622千円（前年同期比11.2%増）、営業利益は23,237千円（前年同期比166.9%増）、経常利益は15,962千円（前年同期比132.4%増）となりました。しかしながら、新規事業を立ち上げた関連会社の収益化には時間を要することもあり四半期純損失は10,449千円（前年同期 四半期純損失は1,271千円）となりました。

セグメント別の業績については、以下の通りであります。

①駐車場事業

新規駐車場開発の強化及び既存駐車場の収益力向上並びに不採算駐車場からの撤退等を推進した結果、売上高は1,173,574千円（前年同期比9.8%増）、営業利益は57,109千円（前年同期比322.8%増）となりました。売上高の内訳は、直営店方式977,515千円（前年同期比12.9%増）、加盟店方式136,107千円（前年同期比7.0%減）、管理受託方式47,061千円（前年同期比7.0%増）、機械販売等12,891千円（前年同期比0.5%減）となりました。

②CG制作事業

メインクライアントからの受注確保及び新規クライアントの開拓活動に注力した結果、売上高は9,870千円（前年同期比72.9%増）、営業利益は432千円（前年同期は2,622千円の営業損失）となりました。

③不動産等事業

駐車場を中心とした不動産売買仲介事業の他、鹿児島県薩摩川内市にてマンション開発事業（平成22年7月竣工予定）を展開した結果、売上高は757千円（前年同期比42.2%増）、営業損失は16,148千円（前年同期は2,180千円の営業損失）となりました。

④飲食事業

福岡市、長崎県佐世保市及び大阪市の当社が運営・管理する駐車場内を中心に「いなほ焼き」の店舗を8ヶ所展開、売上高は11,420千円、営業損失は18,156千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して79,001千円増加し、1,333,207千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加61,085千円、前払費用の増加31,369千円、受取手形及び売掛金の減少13,323千円等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して60,700千円増加し、1,334,707千円となりました。これは主として、新規直営駐車場等の設備投資による有形固定資産の増加28,765千円、敷金及び保証金の差入等による投資その他の資産の増加35,618千円等によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して45,919千円増加し、1,184,009千円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金の増加225,512千円、未払法人税等の増加12,618千円、買掛金の減少17,592千円、短期借入金の減少200,000千円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比較して114,895千円増加し、1,016,943千円となりました。これは主として、長期借入金の増加102,024千円、退職給付引当金の増加1,011千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して21,112千円減少し、466,960千円となりました。これは主として、四半期純損失の計上10,449千円及び配当金の支払10,662千円によるものであります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し50,188千円増加し、747,823千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、39,893千円(前年同期は20,514千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益12,240千円、駐車場設備等の減価償却費23,793千円、売上債権の減少13,323千円による収入、仕入債務の減少17,592千円による支出、前払費用の増加31,215千円の支出等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、98,373千円(前年同期は40,958千円の使用)となりました。これは主に新規駐車場設備に係る有形固定資産の取得による支出33,674千円、定期預金の預入による支出10,900千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出52,886千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、108,667千円(前年同期は212,632千円の取得)となりました。これは主に短期借入れによる収入600,000千円と短期借入金の返済による支出800,000千円、長期借入れによる収入360,000千円と長期借入金の返済による支出32,464千円、配当金の支払額9,928千円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、かねてより重点課題として取り組んでまいりましたサービスの質の向上、営業力強化に引き続き注力するとともに、駐車場会員カードを今後も拡大させ、他駐車場との差別化を図り、収益拡大を目指してまいります。

また、前連結会計年度より強化してまいりました、駐車場賃借料見直しや不採算駐車場からの撤退等による収益改善効果の拡大が、当連結会計年度には見込めることと合わせ、飲食事業につきましても既存店舗の販促活動強化、未出店地域への進出等により早期の黒字化を目指してまいります。

平成22年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成21年8月10日に公表いたしました「平成21年6月期決算短信」における通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	811,781	750,696
受取手形及び売掛金	112,917	126,241
有価証券	12,030	12,027
仕掛販売用不動産	127,897	127,510
原材料及び貯蔵品	1,523	1,916
前払費用	239,651	208,281
その他	30,123	30,903
貸倒引当金	△2,717	△3,371
流動資産合計	1,333,207	1,254,205
固定資産		
有形固定資産		
土地	767,285	767,285
その他(純額)	244,548	215,783
有形固定資産合計	1,011,834	983,069
無形固定資産	29,482	33,049
投資その他の資産		
その他	293,595	257,977
貸倒引当金	△205	△90
投資その他の資産合計	293,390	257,887
固定資産合計	1,334,707	1,274,006
資産合計	2,667,914	2,528,211
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,858	72,450
短期借入金	400,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	326,268	100,756
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	24,628	12,010
ポイント引当金	23,061	22,072
その他	355,193	325,801
流動負債合計	1,184,009	1,138,090
固定負債		
長期借入金	835,564	733,540
退職給付引当金	4,588	3,577
その他	176,791	164,931
固定負債合計	1,016,943	902,048
負債合計	2,200,953	2,040,138

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,500	333,500
資本剰余金	104,000	104,000
利益剰余金	29,458	50,570
株主資本合計	466,958	488,070
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	2
評価・換算差額等合計	2	2
純資産合計	466,960	488,073
負債純資産合計	2,667,914	2,528,211

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,075,405	1,195,622
売上原価	893,925	971,093
売上総利益	181,479	224,529
販売費及び一般管理費	172,773	201,292
営業利益	8,706	23,237
営業外収益		
受取利息	687	117
受取配当金	6	3
受取保険金	—	905
受取手数料	476	—
その他	570	490
営業外収益合計	1,739	1,516
営業外費用		
支払利息	3,451	6,118
支払手数料	—	1,737
その他	127	936
営業外費用合計	3,579	8,792
経常利益	6,867	15,962
特別損失		
固定資産売却損	41	—
ゴルフ会員権売却損	—	276
精算機開発中止損失	—	3,445
特別損失合計	41	3,721
税金等調整前四半期純利益	6,826	12,240
法人税、住民税及び事業税	1,934	18,883
法人税等調整額	6,162	3,806
法人税等合計	8,097	22,690
四半期純損失(△)	△1,271	△10,449

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,826	12,240
減価償却費	17,546	23,793
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△577	△538
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,315	989
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	889	1,011
受取利息及び受取配当金	△693	△121
支払利息	3,451	6,118
有形固定資産売却損益 (△は益)	41	—
固定資産除却損	—	695
売上債権の増減額 (△は増加)	29,273	13,323
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,989	5
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,549	△17,592
前払費用の増減額 (△は増加)	△7,661	△31,215
その他	8,998	40,896
小計	53,869	49,606
利息及び配当金の受取額	693	121
利息の支払額	△3,666	△6,200
法人税等の支払額	△71,411	△3,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,514	39,893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△625	△10,900
有形固定資産の取得による支出	△23,937	△33,674
無形固定資産の取得による支出	△7,975	△1,495
有形固定資産の売却による収入	50	—
貸付けによる支出	—	△500
貸付金の回収による収入	127	221
敷金の差入による支出	△9,766	△52,886
敷金の回収による収入	1,258	1,147
その他	△90	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,958	△98,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	795,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△545,000	△800,000
長期借入れによる収入	—	360,000
長期借入金の返済による支出	△21,358	△32,464
割賦債務の返済による支出	△1,440	△1,495
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△387	△2,443
配当金の支払額	△9,181	△9,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	212,632	108,667
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	151,159	50,188
現金及び現金同等物の期首残高	325,783	697,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	476,942	747,823

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作 事業 (千円)	不動産等 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,069,162	5,710	532	1,075,405	—	1,075,405
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,069,162	5,710	532	1,075,405	—	1,075,405
営業利益又は営業損失(△)	13,508	△2,622	△2,180	8,706	—	8,706

当第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作 事業 (千円)	不動産等 事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,173,574	9,870	757	11,420	1,195,622	—	1,195,622
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	981	—	—	—	981	(981)	—
計	1,174,556	9,870	757	11,420	1,196,604	(981)	1,195,622
営業利益又は営業損失(△)	57,109	432	△16,148	△18,156	23,237	—	23,237

1 事業の区分の方法

事業は、役務の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 事業区分の追加

前第3四半期連結会計期間において、ピー・エム・トラスト株式会社を設立し、飲食サービス店舗の運営を開始したことにより「飲食事業」セグメントを新たに追加しております。

3 各事業区分の主な内容

- (1) 駐車場事業・・・駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する事業
- (2) CG制作事業・・・コンピュータグラフィックスの制作販売に関する事業
- (3) 不動産等事業・・・不動産の売買、仲介及び賃貸並びにこれらに付随する事業
- (4) 飲食事業・・・飲食サービス店舗の運営及びこれらに付随する事業

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。